



## 第2回 THEシガパークビジョン 検討委員会

令和7年12月24日(水)

滋賀県土木交通部都市計画課  
公園魅力向上推進室

# 1.意見聴取の目的、対象、方法



検討の初期段階で、県民のみなさまや民間を含めた関係機関・団体様からの公園に対する意見をお聴きするため、アンケート・ヒアリングを実施し、骨子(案)に反映します。

## ■意見聴取の対象と回答数

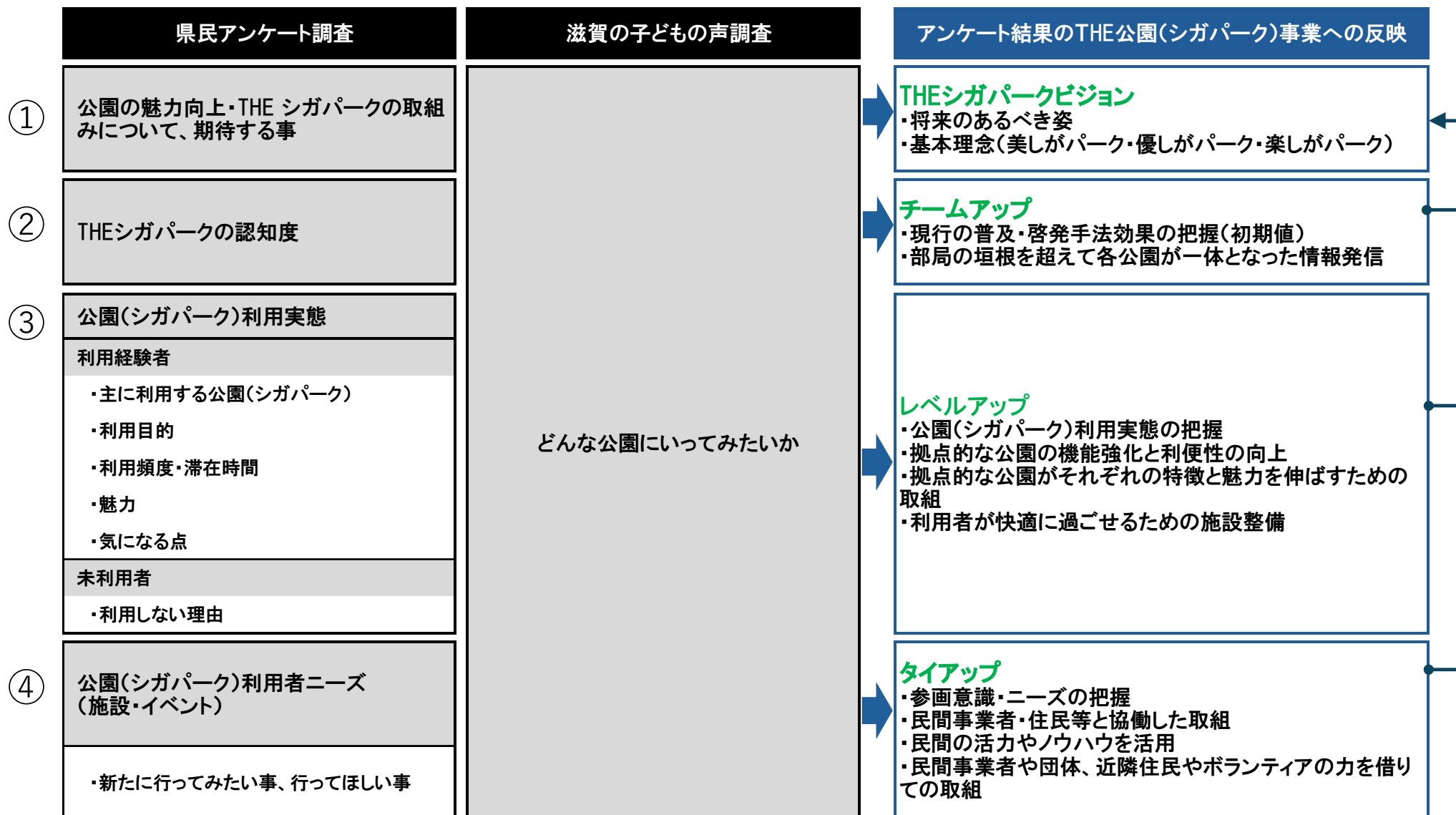
対象		方法	期間	回答数
【一般募集】	県内外	WEBアンケート シガパークインスタフォロワー等 プロモーション事業と連携	11月14日 ～12月1日	計：242 滋賀県内：197 滋賀県外：45
【マーケティング グリサーチ】		滋賀県・大阪府・京都府・福井県 岐阜県・三重県・愛知県 2,000サンプル程度をサンプリング	11月18日 ～11月19日	計：2,200 滋賀県内：1,000 滋賀県外：1,200 (福井県、岐阜県、愛知県、三重県、 京都府、大阪府：各200)
【子ども】	県内	Q.どんな公園に行ってみたい？（自由回答）  小学1年生～3年生、小学4年生～6年生、 中学生・高校生、大学生、その他	滋賀の 子どもの声 調査 (2025.7実施済)	計：1463（自由回答数） 小学1年生～3年生：90、 小学4年生～6年生：569 中学生・高校生：762、 大学生：21、その他：21

※利活用団体、関係機関等への意見聴取は実施中

## 2.項目と結果の反映について

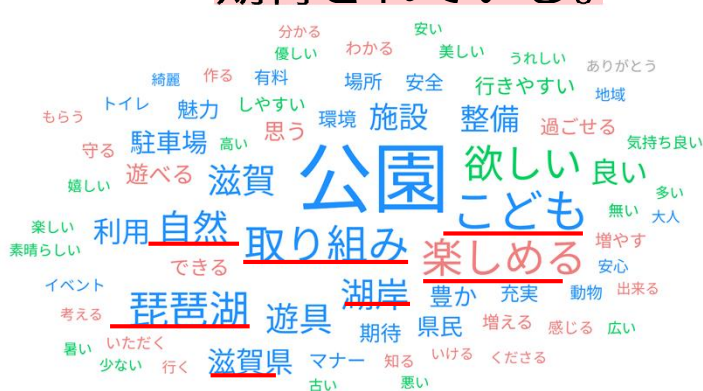


各アンケート結果の質問項目と、事業への反映方法を、以下の通り想定します。

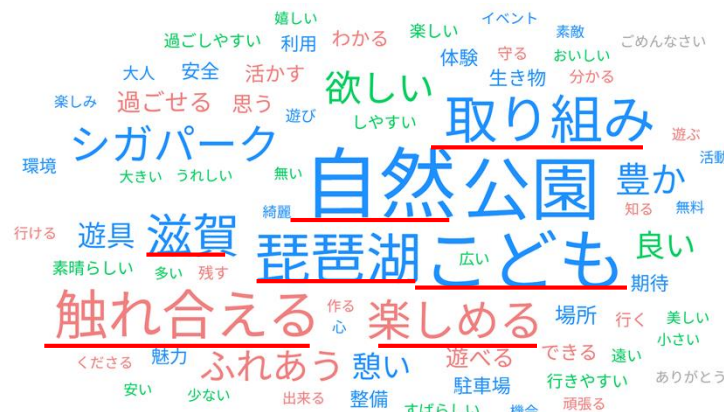


Q.公園の魅力向上・THEシガパークの取組について、期待することをお教えてください(自由記述)。

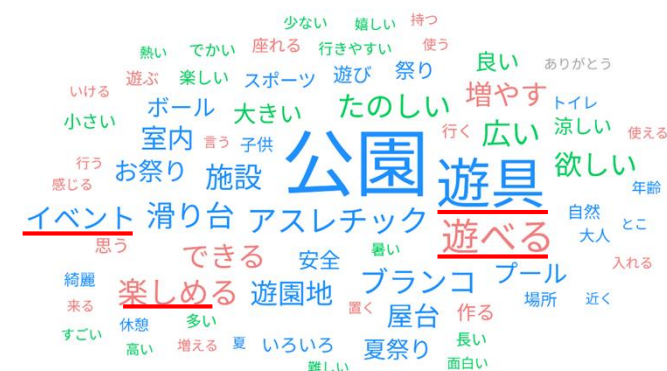
結果:滋賀ならではの琵琶湖の魅力や自然への関心が大きく、楽しめるイベントや施設が期待されている。



県内



県外



こどもの声(県内)

＜抜粋＞（県内）滋賀民も他県民も、琵琶湖をはじめとした滋賀の自然の魅力に気付いていけたら良い  
性別年齢関係なく、皆が楽しめるイベント事を開催して欲しい  
（県外）こどもが伸び伸びと遊んだり自然と触れ合える環境だといい  
自然の中で学びと遊びが両立でき家族で楽しめる場所となって欲しい  
（こども）みんなで楽しめるイベントや遊具があったら行ってみたい

- 名詞
- 動詞
- 形容詞
- 感動詞

※自由記述をAIテキストマイニング by ユーザーローカルにより分析し、キーワード画像を作成。

※スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています

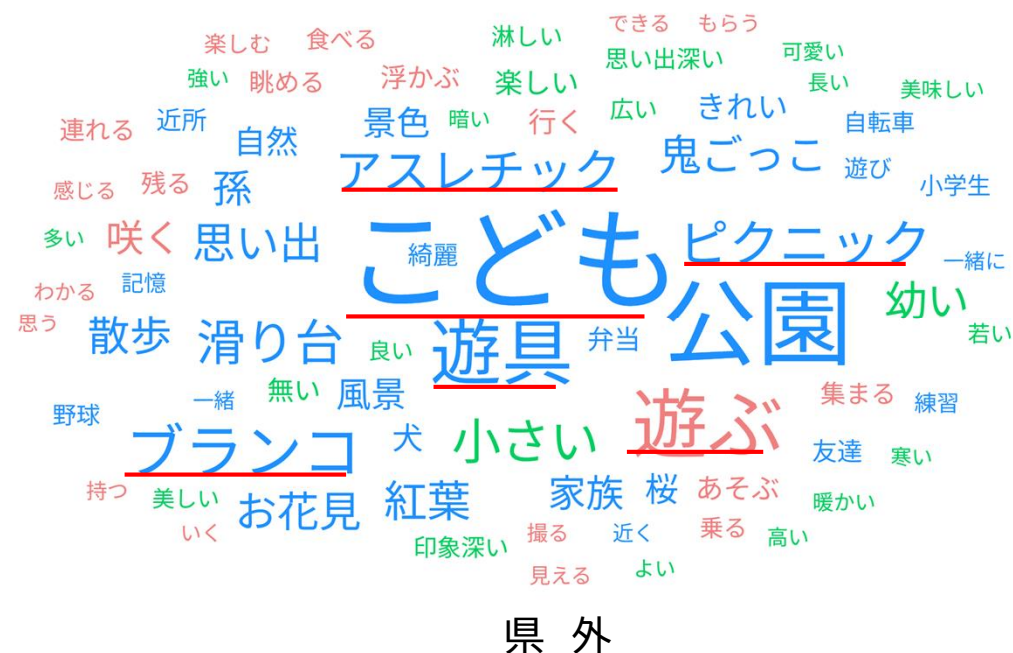
通常はその単語の出現回数が多いほどスコアが高くなりますが、「言う」や「思う」など、どの文書にもよく現れる単語についてはスコアが低めになります。

※テキストマイニングとは、アンケートやSNSなどの膨大なテキストデータから、隠れたパターンや有益な情報を自動的に抽出・分析する技術です。

AIテキストマイニング by ユーザーローカルで作成



結果:子ども時代に琵琶湖の景色を感じながら、遊具などで遊んだ公園に出かけた思い出をもつ人が多い。



■ 名詞  
■ 動詞  
■ 形容詞  
■ 感動詞

※テキストマイニングとは、アンケートやSNSなどの膨大なテキストデータから、隠れたパターンや有益な情報を自動的に抽出・分析する技術です。

AIテキストマイニング by ユーザーローカルで作成

### 3.意見聴取結果速報

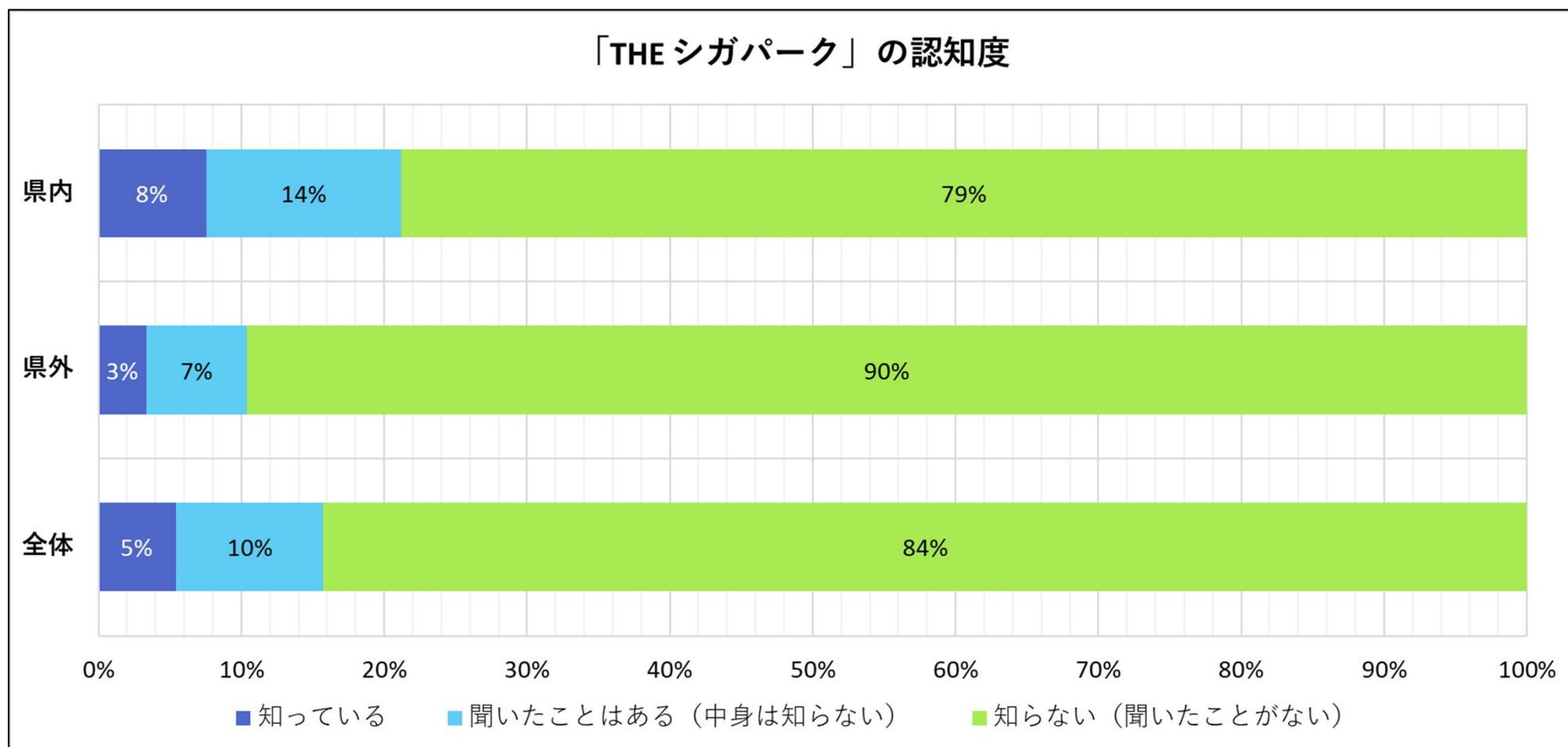


## ②THE シガパークの認知度

Q.あなたは、「THE シガパーク」の取組をご存じですか。

結果:「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は全体で約15%であった。

県外は、県内に比べ認知度は低い、約10%の認知度がある。



### 3.意見聴取結果速報



#### ③公園(シガパーク)利用実態

<主に利用する公園>

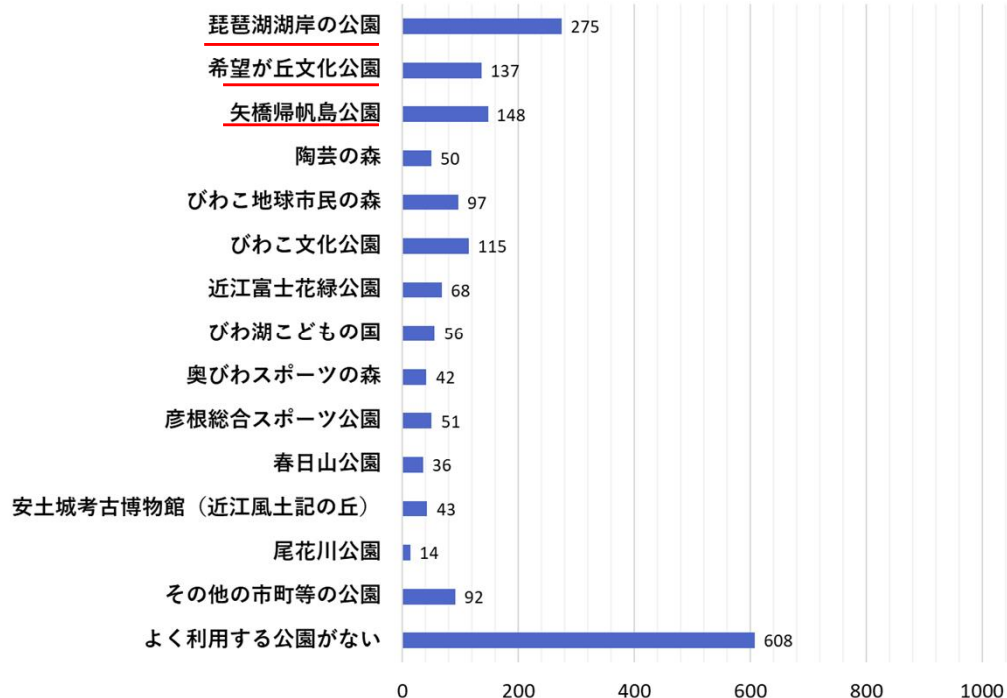
Q.あなたが、よく利用される(年1回以上)公園を教えてください(複数回答可)。

結果:県内外ともに「琵琶湖湖岸の公園」が多く利用されている。

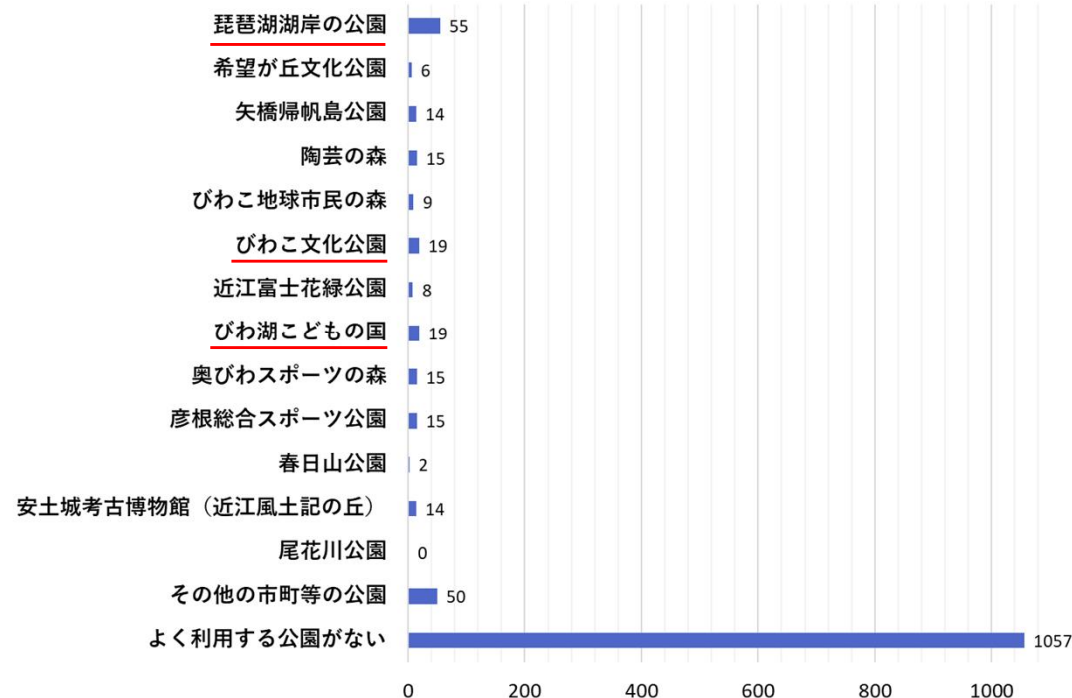
県内は次いで「希望が丘文化公園」や「矢橋帰帆島公園」が多く、

県外は次いで「びわこ文化公園」や「びわ湖こどもの国」へ訪れており、他県からのアクセス性や湖岸との近接性が関係しているといえる。

よく利用する公園 (県内)



よく利用する公園 (県外)



# 3.意見聴取結果速報



## <利用頻度・滞在時間>

Q.一番利用されている公園は、どのくらいの頻度で利用されていますか。

Q.一番利用されている公園には、どのくらい滞在されていますか。

結果:利用頻度は、「年に数回」が最も多く、県内外の傾向はほぼ同じである。

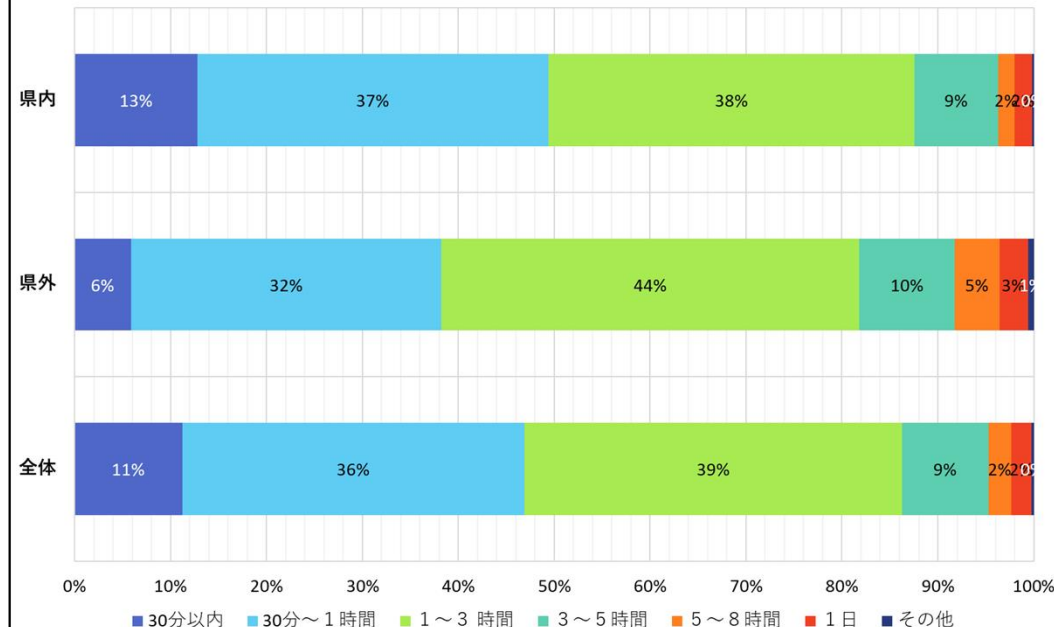
滞在時間は、「30分～1時間」、「1時間～3時間」が多く、

すぐに立ち寄ることのできる県内に比べ、県外の方が若干長い傾向にある。

公園の利用頻度



公園の滞在時間





# 3.意見聴取結果速報

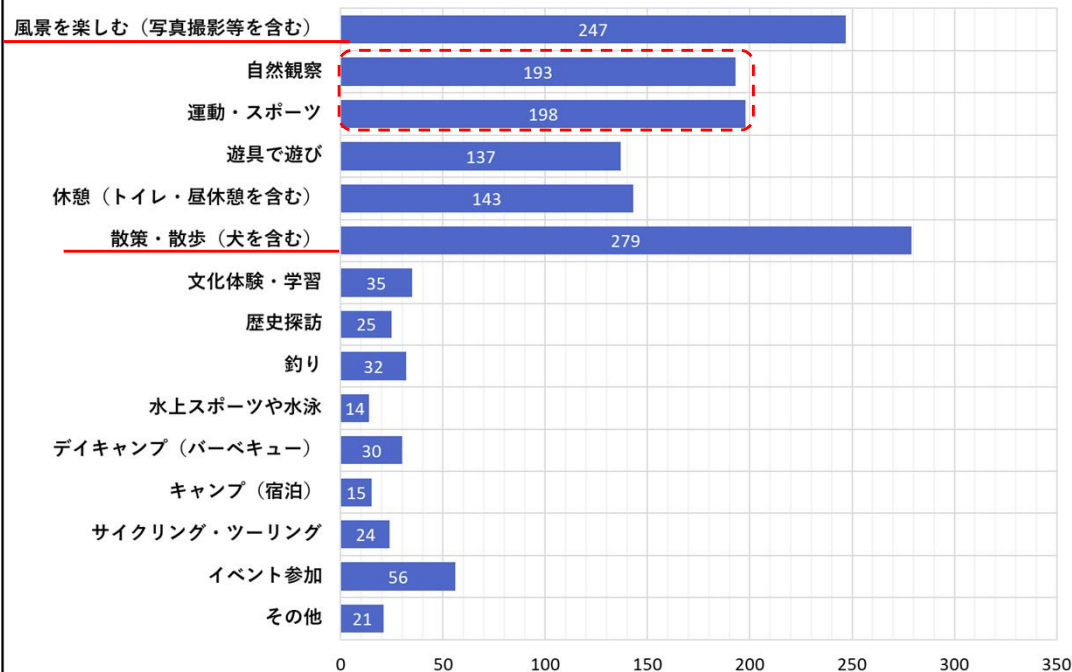


<利用目的>

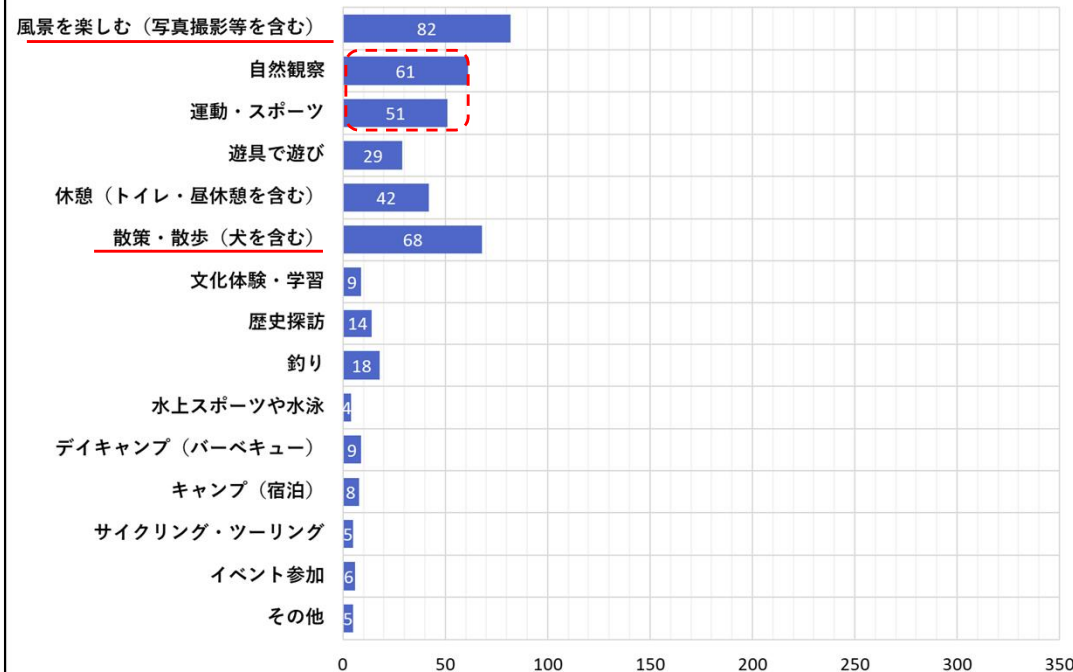
Q.利用されている公園の主な目的は何ですか(複数回答可)。

結果:県内外ともに「風景を楽しむ」、「散策・散歩」を目的とする静的な利用者が多く、次いで「自然観察」、「運動・スポーツ」としても多く利用されている。

公園を利用する主な目的（県内）



公園を利用する主な目的（県外）



# 3.意見聴取結果速報



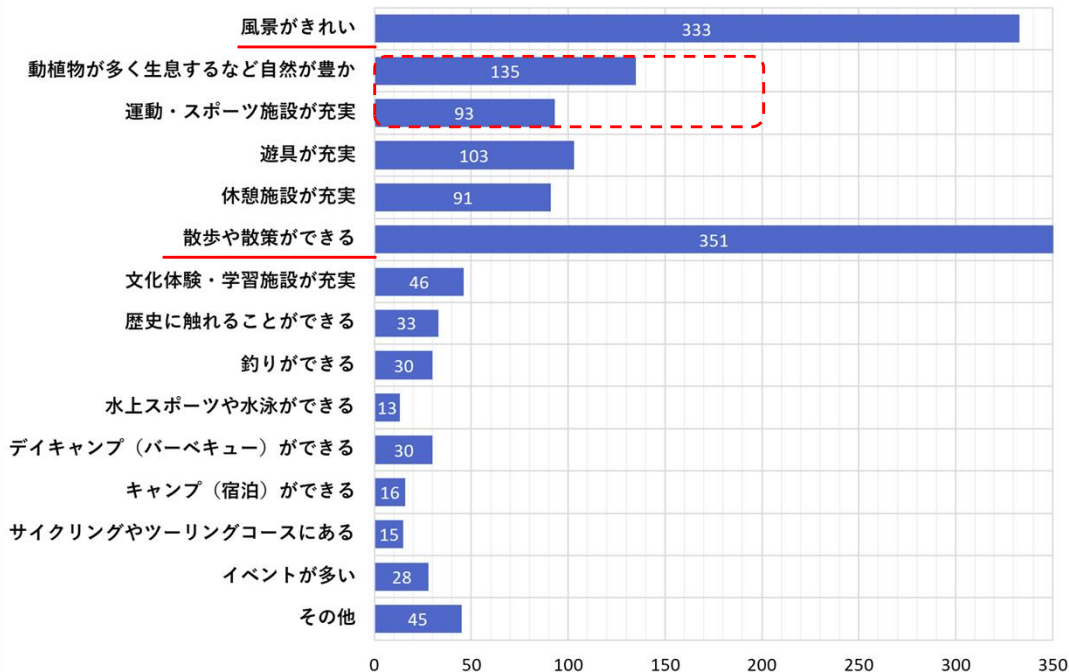
## <魅力>

Q.利用されている公園の魅力は何ですか(複数回答可)。

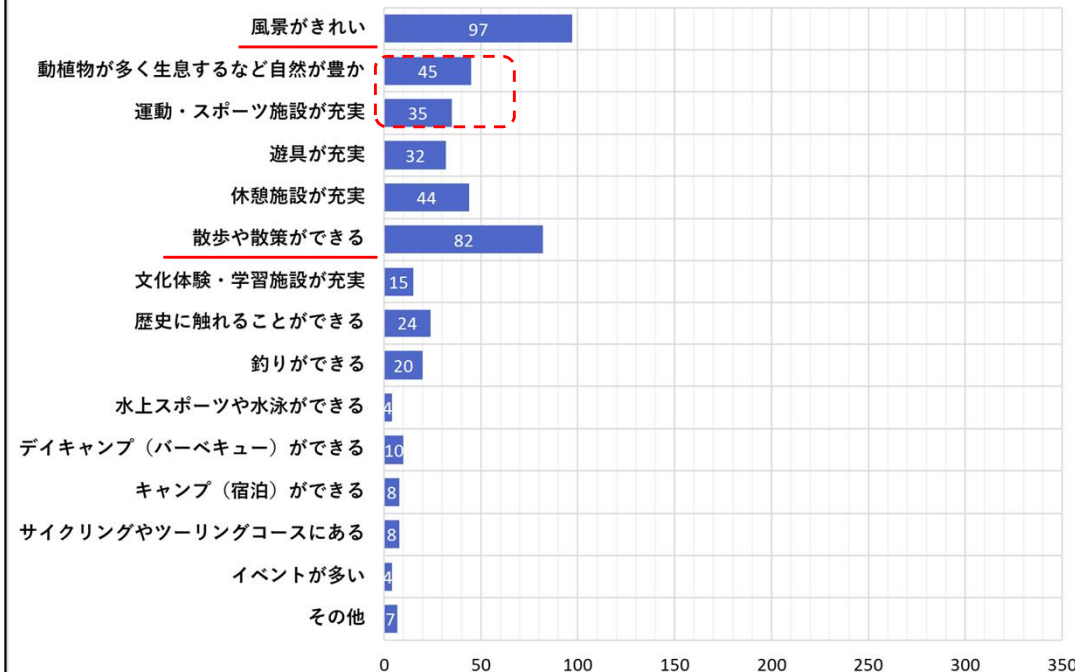
結果:県内外ともに「風景がきれい」、「散策や散歩ができる」ことを魅力と感じている人多く、目的としている割合を上回っている。

一方「自然観察」や「運動・スポーツ」を目的とした利用に対して、魅力と感じている人は少なく、環境や施設が魅力としては不十分であることがわかる。

滋賀の公園の魅力 (県内)



滋賀の公園の魅力 (県外)



# 3.意見聴取結果速報



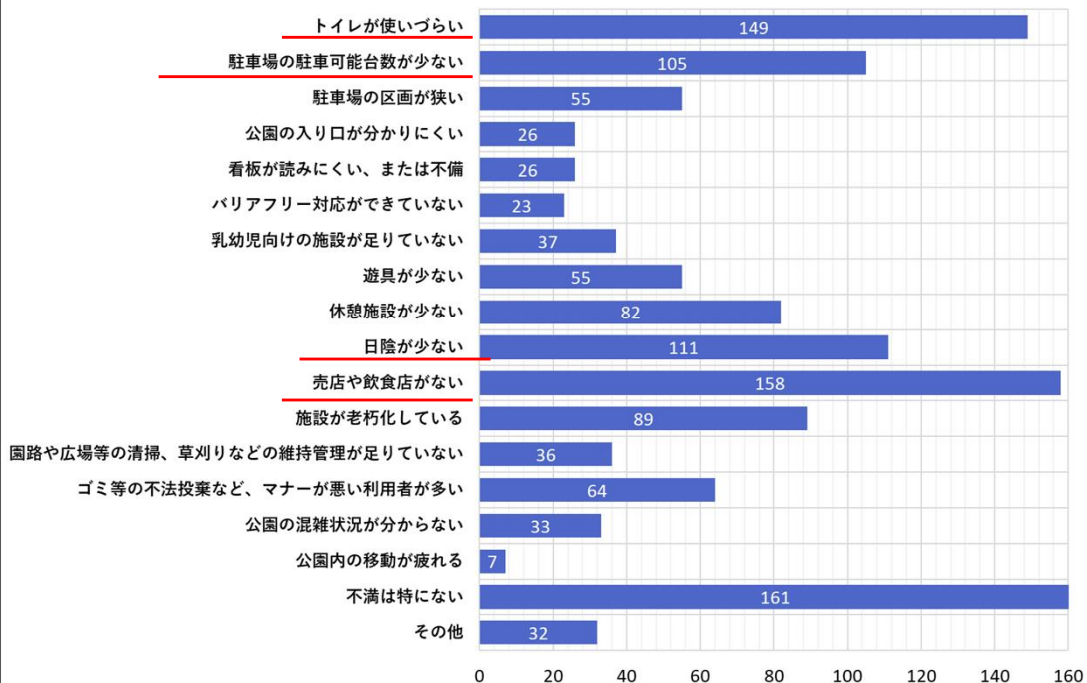
## <気になる点、改善要望>

Q.利用されている公園で、気になる点がありますか(複数回答可)。

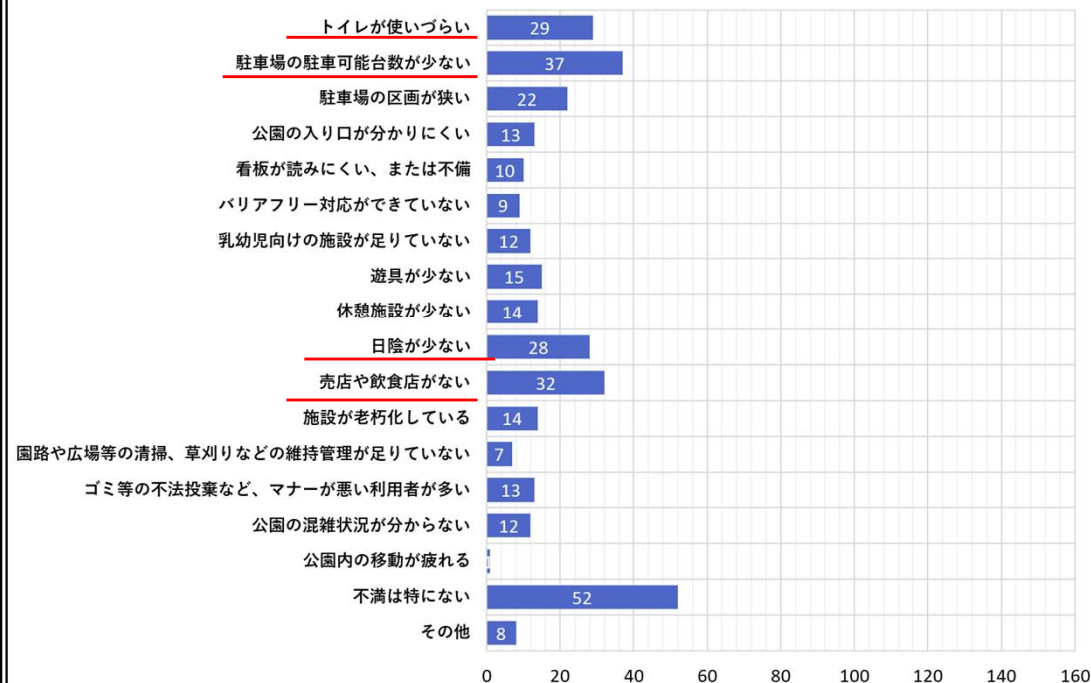
結果:県内外ともに「売店や飲食店がない」、「トイレが使いづらい」、「日陰が少ない」、「駐車台数が少ない」などが多い。

また、こどもたちの回答にも屋台やお祭り、トイレや涼める休憩施設を求める声が見られた。

公園の気になる点（県内）



公園の気になる点（県外）



滋賀の子どもの声調査(2025.7)

<抜粋>・**トイレ**がきれいな公園

・**食べ物や飲み物の屋台**がある公園

### 3.意見聴取結果速報

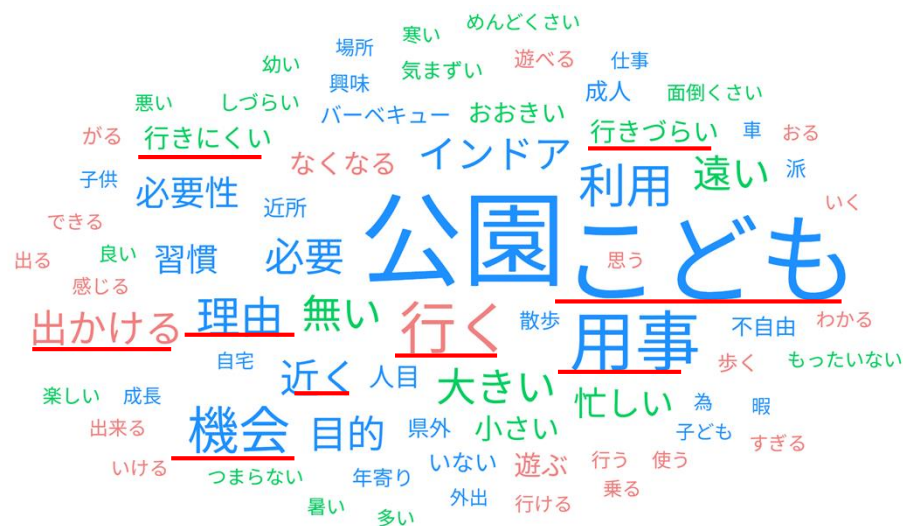


#### <利用しない理由(公園未利用者)>

Q.公園を利用していないのはなぜですか(自由記述)。

結果:こどもが成長したことや行く用事がなくなったことで公園へ行く機会が減っている様子が伺える。

また、自宅から遠いため訪れる機会が少ないという意見も多い。



県内



県外

<抜粋> (県内)最近は**子ども**が大きくなって公園に行く**用事**がなくなったため

自宅から公園が**遠い**ため**行きにくい**

(県外)公園を**利用**する**用事(目的)**がない

**滋賀県**は家から**遠い**から**行く機会**がない

- 名詞
- 動詞
- 形容詞
- 感動詞

※自由記述をAIテキストマイニング by ユーザーローカルにより分析し、キーワード画像を作成。

※スコアが高い単語を複数選出し、その値に応じた大きさで図示しています。

通常はその単語の出現回数が多いほどスコアが高くなりますが、「言う」や「思う」など、どの文書にもよく現れる単語についてはスコアが低めになります。

※テキストマイニングとは、アンケートやSNSなどの膨大なテキストデータから、隠れたパターンや有益な情報を自動的に抽出・分析する技術です。

AIテキストマイニング by ユーザーローカルで作成



### 3.意見聴取結果速報

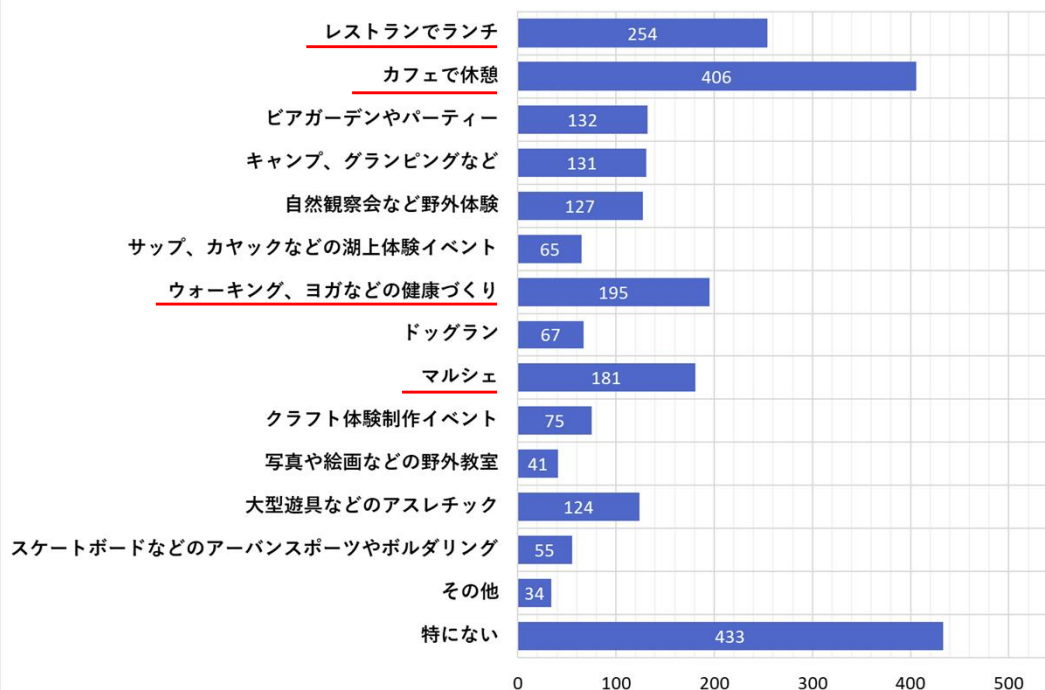


#### ④公園利用者(シガパーク)ニーズ

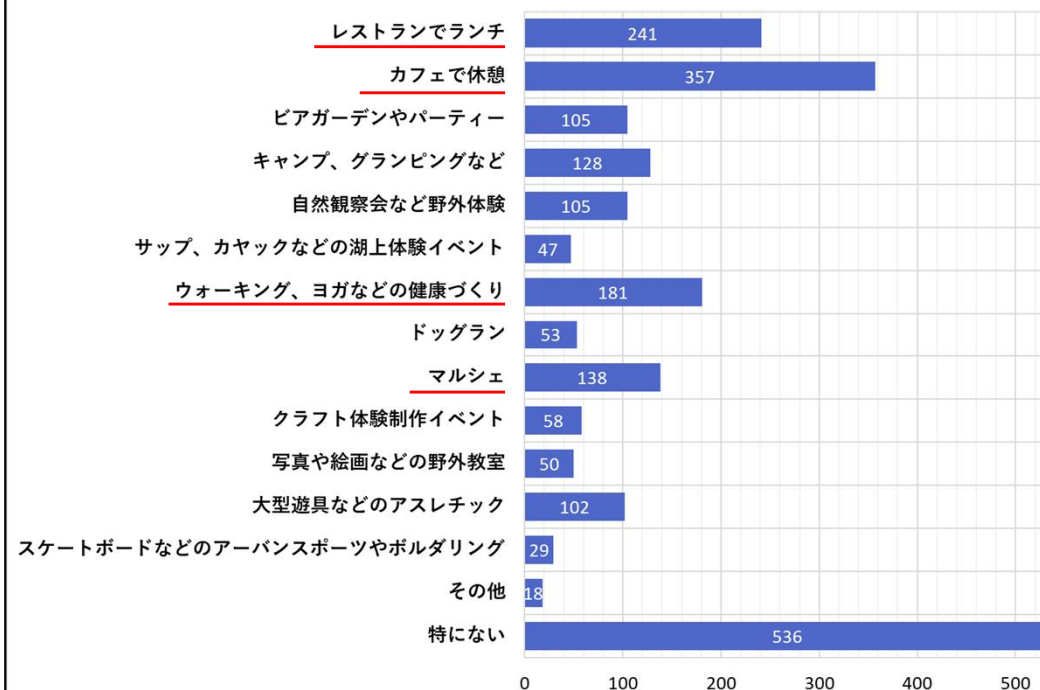
Q.公園で、新たにやってみたい事、やってほしい事がありますか(複数回答可)。

結果:県内外ともに「カフェで休憩」、「レストランでランチ」が多く、  
こどもたちの回答には「アスレチック」や「遊具」、「祭りや屋台」などの声も多くあった。

公園で、新たにやってみたい事、やってほしい事 (県内)



公園で、新たにやってみたい事、やってほしい事 (県外)



滋賀の子どもの声調査(2025.7)

<抜粋>・**大型遊具**やアスレチックがある公園  
・**お祭りやキッチンカー**が来る公園



## 4. 滋賀の子どもたちの声調査結果



### 滋賀の子どもたちの声調査 フィードバック

「滋賀の子どもたちの声調査」

結果公表(R7.10.29)

調査期間:令和7年7月1日(火)  
～7月31日(木)

調査対象:県内の小学1年生  
～大学生世代

回答数:1463件(自由回答数)

調査概要:どんな公園に行ってみ  
たいか？

みなさんの声（主なもの）	県からの答え
大きい公園、楽しい公園、わくわくする公園がいい。	希望が丘文化公園など、大きな公園がたくさんあるので、また行ってみてください。みんなが楽しくわくわくするような公園づくりを進めていきます。
屋台やキッチンカーなど、食べ物が売っているスペースがあったり、子どもから大人までみんなが楽しめるイベントや季節に合うお祭りが開催されている公園がいい。	地域の会社や地元のみなさんと協力して、誰もが楽しめるイベントを開催していきたいと思います。
キレイなトイレや休憩スペースがあったり、自動販売機があるような快適な公園がいい。	キレイなトイレや休憩スペース・自動販売機設置など、公園を訪れた人に「また来たいな」と思ってもらえるような快適な公園づくりを進めていきます。
夏でも公園を楽しめるように、大きな屋根や室内で遊べる場所、涼める休憩場所、涼めるじゃぶじゃぶ池がある公園を作ってほしい。	大きな屋根や室内で遊べる場所を作ることは難しいですが、日陰のある休憩所や涼める施設など、工夫して暑い夏でも公園を利用できるように取り組んでいきます。
遊具や水遊びなどの遊び場、ボール遊びや色々なスポーツができる場所、静かに座って過ごせる場所、自然と触れ合える場所を作ってほしい。	公園に対してのみなさんのいろいろな希望をできるだけかなえられるよう、いろいろな公園で協力しながら取り組んでいきます。

## 5. 今後の作業方針



- ・現在実施中の**利活用団体、関係機関等**のアンケート結果の集計
- ・**県内回答者**と**県外回答者**の特性の把握(利用実態やニーズの違い等)  
→県内回答者と県外回答者ごとの集計
- ・**性別**や**年代**ごとの特性の把握(利用実態やニーズの違い等)  
→男女別、年代別などのクロス集計  
(厚生労働省の調査における区分:青年(15～24歳)、壮年(25～44歳)、中年(45～64歳)、高年(65歳以上))
- ・**公園ごと**の特性の把握(利用実態やニーズ等)  
→傾向の分析や課題の抽出